

なかがわ

広報

2013. 9



No.96

- 子どもたちが、心豊かでたくましく成長するために 2
- 町職員の給与・定員管理を紹介します 6
- 封筒広告を募集します 9
- 馬頭最終処分場計画変更に係る町民説明会 12
- 第3回那珂川町「夢まつり」〈夏〉 13
- 「東野交通」の運行が変わります 22



33チームが白熱した戦い「三輪車レース」(那珂川町夢まつり)

広報 展示室

第96回

秋季特別展 城と武将—天下をめぐる男たちの戦い—

15世紀末から17世紀初頭にかけて、日本全土の統一と支配を志し、男たちが熱い戦いを繰り広げました。下克上でのし上がっていく者、主君を裏切り滅ぼされる者などそれぞれの武将の波乱に富んだ人生は、数々のテレビドラマや映画、あるいは小説などに取りあげられ、現在もなお私たちの心を魅了し続けています。

戦乱の世が終わり、平和を謳歌した江戸時代の人々にとっても戦国時代の武将の生き様や彼らの勇壮な戦いはあこがれの的でした。人気の高かった武将たちやさまざまないくさの様子が多くの浮世絵に描かれています。

ここに描かれるのは、小多春永公とその重臣たち。互いににらみ合い、緊張が漂います。一番上にいるのが小多春永です。こんな武将、いたっけ?と思われるかもしれませんが、実は織田信長です。家臣たちも、「真柴久吉(羽柴秀吉)」、「武智光秀(明智光秀)」、「柴田辰家(柴田勝家)」、「辰川左近将監(益川一益)」と、実際とはちょっと違う名前になっています。

天下をめぐる戦いを制し、その頂点に立ったのは徳川家康でした。しかし、家康も、もとはといえば信長の家来、秀吉の家臣でした。天下を治めるにあたってそのことは不都合な事実であつたに違いありません。徳川幕府は検閲制度を設け、信長、秀吉以降の武家についての記述を出版物において規制しました。

一方、民衆は戦国ヒーローたちにあこがれ、その活躍を知りたがっていました。その要望に応じて版元は戦国ものの浮世絵を制作しますが、幕府の禁令にひっかかっては大変です。そこで、武将の名前を微妙に替えて出版したわけです。

本展では、このように違う名前が付けられた武士がたくさん登場します。

誰が描かれているのか、家紋などを手がかりに想像しながらご覧下さい。また、展覧会では当時佐竹氏の配下にあつた那珂川町の戦国時代も見えていきます。

この秋は、武茂城址のふもとに立つ広重美術館で戦国の世に想いを馳せながら、「城と武将」展をお楽しみ下さい。



歌川芳虎「名将四天鑑 小多春永公」太田記念美術館蔵

馬頭広重美術館 主任学芸員 長井裕子

【会 期】

前期 9月14日(土)～10月20日(日)

後期 10月25日(金)～11月24日(日)

【ミュージアムトーク(展示解説)】

前期 9月14日(土)午後1時30分～当館学芸員

後期 10月26日(土)午後1時30分～当館学芸員

【開館時間】

午前9時30分より午後5時まで(但し入館は4時30分まで)

【入館料】 大 人 700円(630円)

高・大学生 400円(360円)

※()は20名以上の団体料金。

※70歳以上の高齢者、中学生以下は無料。

※障がい者手帳等をお持ちの方・付き添い1名は半額

平成24年度 那珂川町観光写真コンテスト 受賞作品



入選 「満開のそば畑」
小林正行さん(大田原市)
撮影場所…ふるさと森公園



入選 「彼岸花の丘」
菊池専一郎さん(矢叉)
撮影場所…矢叉地内